

消防の お知らせ



署 団 会 会 会
防 防 協 協 協
消 防 災 防 防
消 防 火 火 火
窪 窪 火 火 火
荻 荻 荻 荻 荻

No.199 平成29.8

防災週間

8月30日～9月5日
「9月1日は防災の日」

平成29年度 東京消防庁防災標語

防災で 守る地域と みんなの笑顔

作者 吉田 清隆さん
杉並区在学



あなたは地域のために何ができますか？

首都直下地震に備え、「自らの生命は自らが守る」という「自助・共助」の意識のもと、地震が発生したときでも適切な行動がとれるように、防災訓練等に積極的に参加して**防災行動力**を高めましょう。

初期消火訓練

町会・自治会等が所有している軽可搬消防ポンプやスタンドパイプ、消火器などの初期消火資器材等の取扱い訓練をしましょう。



救出・救助訓練

建物の倒壊や家具等の転倒・落下・移動などにより閉じ込められた人を車のジャッキなど簡易的な資器材等で救出する訓練をしましょう。



応急救護・搬送訓練

地震により怪我をした人の応急救護や、シートや毛布等を使った簡易担架による搬送訓練をしましょう。



どこでも・いつでも・だれでも訓練できる「まちかど防災訓練車」



木造密集地域や狭い道路にも入っていきけるよ。水タンクを積載しているからどこでも放水訓練ができるよ！
詳しくは消防署に聞いてね。



まちかど防災訓練車



主な積載器具



実際に放水できます

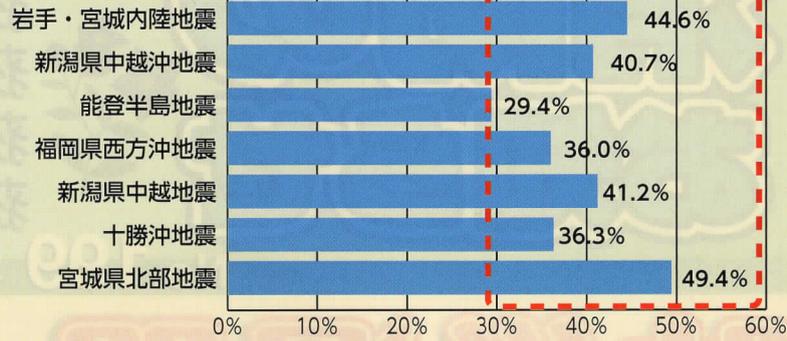
回 覧 (裏面もごらんください)



身を守るため家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう!



地震による負傷原因の3割から5割は「**家具類の転倒・落下・移動**」が原因です。家族や自分の身を守るために家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施しましょう。



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

ケガだけではない。対策をしていないと起こる**危険!**

火 災

地震が起こると、家具類の転倒・落下・移動によって火災が発生することがあります。

ストーブや水槽ヒーターなどの熱を発する器具に家具類が転倒等をした場合だけでなく、ストーブ等に家具類の収容物(本棚の本など)が落下することでも、火災が発生する危険があります。

<東日本大震災での出火例>

- 本棚が倒れ、本が電気ストーブに落下し出火
- 電気スタンドが倒れ、布団に接触し出火
- 落下物が、家電製品のスイッチに接触し、スイッチが入ることにより出火など



避難障害

地震により、転倒した家具が扉や窓を塞ぎ、逃げられなくなることがあります。

避難できない状況で、自宅や、近隣の住宅等で火災が発生すると、火災に巻き込まれる可能性が高く、非常に危険です。避難障害を起こさないためには、出入口や避難経路に家具を置かないことや、家具を置く向きを工夫したりする家具等のレイアウトも非常に大切です。



一般的な家具類の転倒・落下・移動防止対策

家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止対策をしておきましょう。

重いものは、下に収納することで家具の重心が低くなり転倒しにくくなります。

就寝中の地震発生に備えて、寝室には大型の家具は置かないようにしましょう。



詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページへはこちらからアクセスできます



問合せ先

荻窪消防署 3395-0119
 西荻出張所 3331-0119
 久我山出張所 3332-0119
 天沼出張所 3391-0119
 下井草出張所 3396-0119